



一般質問

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

7 議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。



一般質問事項

質問者	件名	頁
志賀 恒男	1 教員の在校80時間超えの実態は 2 町への進出検討中の企業は	7
中根 久治	1 民間路線バスの将来構想は 2 教育勅語の教材利用の留意点は	8
丸山千代子	1 学校にエアコン設置を 2 認知症にやさしいまちづくりを 3 総合事業の充実を	9
水野千代子	1 ヘルプマーク入りカード導入を 2 学校給食費の無償化を	10
足立 初雄	1 任意団体が植栽した木の管理は 2 最悪の事態を想定した対策を	11
稲吉 照夫	1 駅を起点にした交通網整備を 2 自転車専用レーンの設置を	12
伊藤 宗次	1 企業誘致だと叫ぶが実績なしだ 2 介護保険改悪利用者負担軽減を	13

※質問の内容は2件までを掲載しています。

一般質問



志賀 恒男 議員

問 教員の在校80時間超えの実態は

答 小中学校全体で45.1%である

県教育委員会は、教員の多忙化解消プランを本年3月に公表した。

問 教員の在校時間の把握の方法は。

答 (教育部長) 自己申告により記録し、校長が教育委員会に報告している。

問 小学校・中学校の在校80時間超えの実態は。

答 小学校35.5%、中学校63%、全体で45.1%である。

問 岡崎市で80時間超えの記録書き直しの投書。幸田町は無いと断言できるか。

答 (教育長) 全部調査した訳ではないが、ないと信じている。教頭会の折に、再度調査確認をした。

問 県の公立学校教員の精神疾患による休職者は、年200人で0.5%。

答 (教育部長) 幸田町の場合は、全体の0.4%である。

問 多忙解消に向けた取り組みは。

答 校務システムの導入により、事務の合理化をすすめている。

問 部活動の週2日以上休養日設定は。

答 4月から可能な範囲で運用に努めている。

問 町への進出検討中の企業は

答 製造業7社 販売業1社である

企業立地課が設置されて5年が経過。その成果と今後の見通しを問う。

問 開発許可が下り、現在工事中の事業所は。

答 (企業立地監) 飯島精密工業(株)、(株)カンドリ工業の2社である。

問 進出を検討中の企業、事業所は。

答 8社ある。製造業が7社、販売業が1社である。

問 進出打診の段階での企業は。



工事中の進出企業 (桐山地内)

での課題、障害は。

答 情報収集が不足していることと公共施行の工業団地のストックがないことである。

問 検討したが、進出をあきらめた事例と原因は。

答 1年以内に、建築着手できなかった事。開発の要件、単価、面積の確保など、条件が合わなかった。

問 企業立地課の設立当初に立ち戻り、企業訪問を

答 丁寧にリサーチして積極的にヒヤリングをしている。

問 企業誘致に対する期待は。

答 (町長) 税増収のみでなく、町民が安定して暮らせるまちづくりである。